

【家庭教育支援チーム】

(1)活動主体(チーム)について

①チーム名 (呼称)	有田市家庭教育支援チーム (呼称:「みらい」)
②活動拠点	有田市市民福祉部こども課こども家庭支援係
③活動範囲	有田市内全域
④組織体制	20人 元保育士8人、元教員2人、民生主任児童委員2人、 学童保育指導員2人、その他子育て経験者6人
⑤活動開始年度	平成27年度
⑥問合せ先	(部署・氏名等) 有田市市民福祉部こども課こども家庭支援係「みらい」事務局 辻本敦子 (TEL)0737-82-3711 (E-mail)kodomo@city.arida.lg.jp

(2)活動内容について

①活動形態 (複数チェック可能)	<input type="checkbox"/> 保護者等への学びの場の提供 <input type="checkbox"/> 保護者等への地域の居場所づくり <input checked="" type="checkbox"/> アウトリーチ型家庭教育支援(※保護者の居場所に出向いて届ける支援) <input checked="" type="checkbox"/> 自宅に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input checked="" type="checkbox"/> 保育所・幼稚園・学校等に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input checked="" type="checkbox"/> その他の保護者に届ける支援(情報提供、相談対応等) <input type="checkbox"/> その他()
②活動対象 (複数チェック可能)	<input checked="" type="checkbox"/> 乳幼児 <input type="checkbox"/> 小学生(低学年) <input type="checkbox"/> 小学生(中学年) <input type="checkbox"/> 小学生(高学年) <input type="checkbox"/> 中学生 <input type="checkbox"/> 高校生以上 の子供を持つ保護者に対する活動を実施

<p>③活動内容</p>	<p>【具体的な活動内容】</p> <p>家庭訪問支援員 20 名(市内各地区 3~4 名)が、年 3 回、就学前児童のいる世帯(各支援員 30 世帯程度)を個別に訪問する。会った時の様子や家の状態、会話の中での困りごとや相談を報告書に記載して事務局に提出する。必要な場合は、報告書の提出を待たずに事務局がこども課こども家庭支援係に連絡し、職員が相談内容に答えたり関係機関へつないだりする。また、こども課こども家庭支援係が家の様子を見に行ったり、保育所・幼稚園や保健センター等関係機関で状況を把握したりすることにより、保護者を必要な支援につなげている。</p> <p>訪問の際には子育て情報誌「みらい」を手渡し、地域のイベントやコミュニティ施設等の紹介を行っている。</p>
<p>④活動の成果 (活動実績がある場合)</p>	<p>虐待やネグレクトなどの問題を抱えている家庭を早期に把握し、支援が必要な家庭に対しては適切な助言をしたり福祉サービス等につなげたりすることができた。未就園児がいる家庭や有田市へ転居したばかりの家庭などが地域の中で孤立することを未然に防ぐことにもはたらきかけることができています。</p>
<p>⑤活動財源 (複数チェック可能)</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 文部科学省補助事業(事業名:地域における家庭教育支援基盤構築事業)</p> <p><input type="checkbox"/> 文部科学省委託事業(事業名:)</p> <p><input type="checkbox"/> 厚生労働省事業(事業名:)</p> <p><input type="checkbox"/> 地方公共団体単独事業として実施</p> <p><input type="checkbox"/> 特段の予算措置はない(自主的に活動を実施)</p> <p><input type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施</p> <p>()</p>